



全校に、コミュニティ・スクールが立ち上がりました。しかしここがゴールではなく、まさしくスタート。そこで、井上尚子CSマイスターに、いくつかの学校を訪問していただき、その学校のよさや今後の方向性に関して示唆をいただきました。井上尚子CSマイスターは、令和元年度に、教頭研修会（教育会）の講師をしてくださいています。もっと言えば、牧之原市教委がコミュニティ・スクールを立ち上げることを決めた当時から、参考としている杉並区立天沼小学校学校運営協議会の委員であり、教育委員会のメンバーやモデル校の校長、教頭先生などは、天沼小学校に伺い、色々とコミュニティ・スクールに関して教えていただいております。牧之原市のCS立ち上げを支援して下さった方でもあります。（CSマイスターとは、文科省から委嘱され全国のコミュニティ・スクール立ち上げや運営等に関してきめ細やかな指導や助言をするコミュニティ・スクール推進委員のことです。）今回は、今年立ち上がった牧之原小・中学校、三鷹フォーラムで発表した萩間小学校、この日学校運営協議会を開催する勝間田小学校を訪問していただきました。



牧小・中

立花CSディレクターが取り組んでいる登下校の見守り隊の方々を紹介する掲示やCS日より、ホームページのコメント、第2回学校運営協議会でのワークショップなど、その意欲的な取組に、「今年立ち上がったとは思えない。」と井上さんは感心していました。特に、ワークショップの時の掲示をみて、確かな一歩を踏み出していると評価していただきました。天沼小学校では、夏休みを利用して、ワークショップを先生方と行っています。学校の先生方と行うことで、学校運営協議会メンバーと先生方が目標を共有すると同時に、お互いの距離を縮めることができることを教えていただきました。確か、菅小は実施したのではないかな。



萩間小

萩間小学校の正門をくぐると、三鷹フォーラムで紹介された「ちょくら」に興味津々の井上さん。地域の方も入りやすいこと、CSルームをつくるスペースがない学校には、昇降口を活用している「ちょくら」をぜひ紹介したいとのことでした。部屋作りだけでなく、先生方との連絡用のホワイトボード、地域の方にもわかる月の行事の表示など、井上さんにとって、とても参考になるCSルームの活用だったようです。極めつけは、職員室の入り口にある今日の学校に来てくれるボランティアさんの名前の掲示。ぜひ、他の学校にも紹介したいアイデアだったようです。



校長先生を交えての話し合いはやっぱり、ワークショップが話題の中心になりました。

勝間田小

第2回学校運営協議会に参加させていただきました。市社会教育委員の皆さん、県教委義務教育課の傍聴もあり、運営協議会メンバーの3倍くらいの傍聴となり恐縮してしまいました。今回は、「今後のきらり農園（学校農園）の運営」に関して協議されました。井上さんから、学校の課題を協議するという学校運営協議会本来の目的に合致しているところが評価されました。協議会の途中で、アースランチに取り組んだ5年生が、アースランチ大賞をとった「キラおにぎり」をみんなに持ってきてプレゼントしてくれました。



勝小CSルームにて

最後に、勝小CSルームで、井上さんとの振り返りを行いました。どの学校もCSディレクターが中心となって着実に動き始めていることを評価していただきました。確かに、今日訪問した学校に限らず、どの学校のディレクターさんも、それぞれの持ち味を発揮して、精力的に活動してくれていると感じています。そのエネルギーは、ストレートに「子供たちの学びに向かう姿や笑顔」が頭の中をよぎるからだろうと私は思っています。それって、先生方の思いと一緒に。だからこそ、私は、今回の訪問を通して、学校運営協議会のメンバーと先生方とのワークショップの必要性を感じました。地域にコミュニティ・スクールを知ってもらうことも、もちろん大切なことだけれど、その前に、学校内の先生方と学校運営協議会のメンバーで、子供たちのことについて協議し、お互いが同志であることを感じてもらうことが、動き始めた今だからこそ大切ではないでしょうか。

